

國字水滸傳八編

上

第十回

朱貴水亭施

號箭

林冲雪夜上

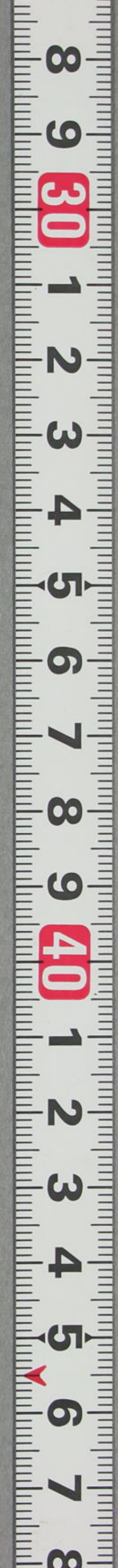
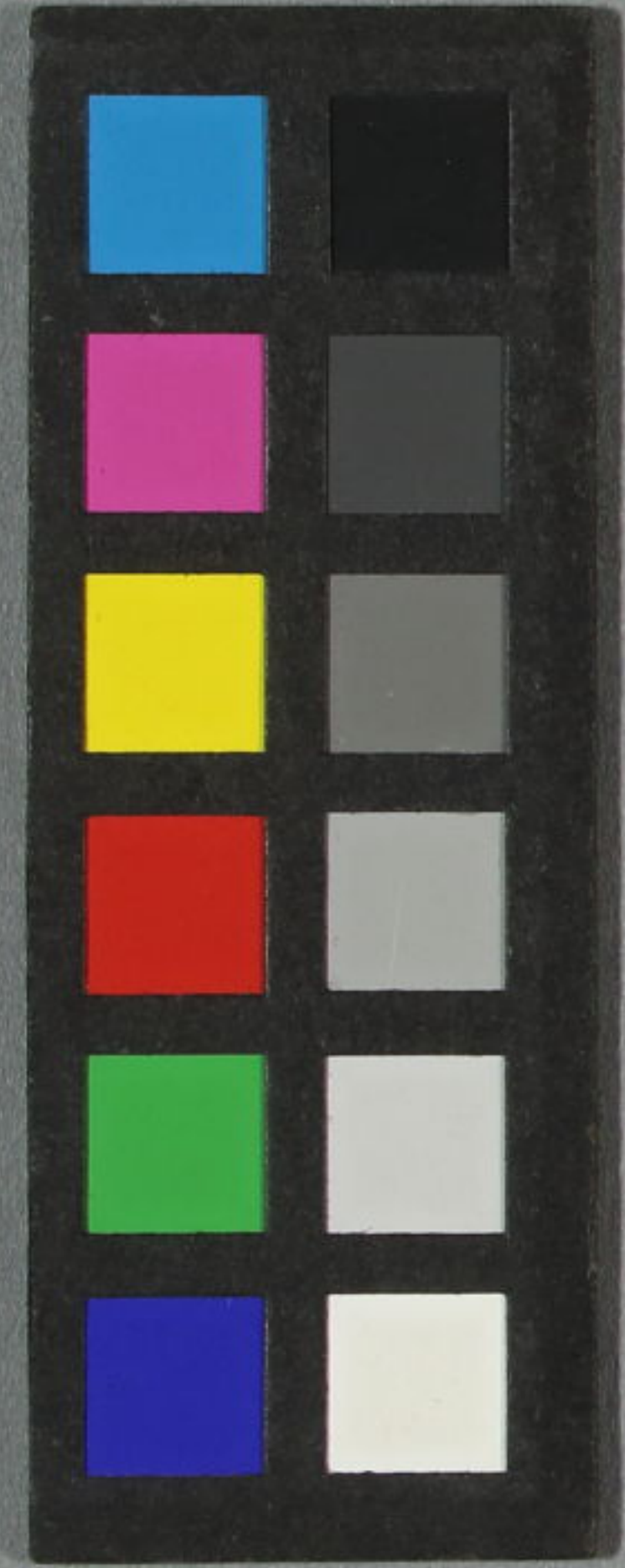
梁山

種彥譯



伯樂  
街書房

~ 13  
3812  
8





門 13  
卷 8



五谷豊登

馬喰町

永壽梓

# 國字水滸傳

八編 上冊

文政庚寅 柳亭種彦譯  
歌川國芳畫



一

# 國字水滸傳

八編 上冊

東都伯樂街  
永壽堂上梓

仗義是林冲 爲人最朴忠 江湖馳譽望  
京國顯英雄 身世悲浮梗 功名類轉蓬  
他年若得志 威鎮泰山東

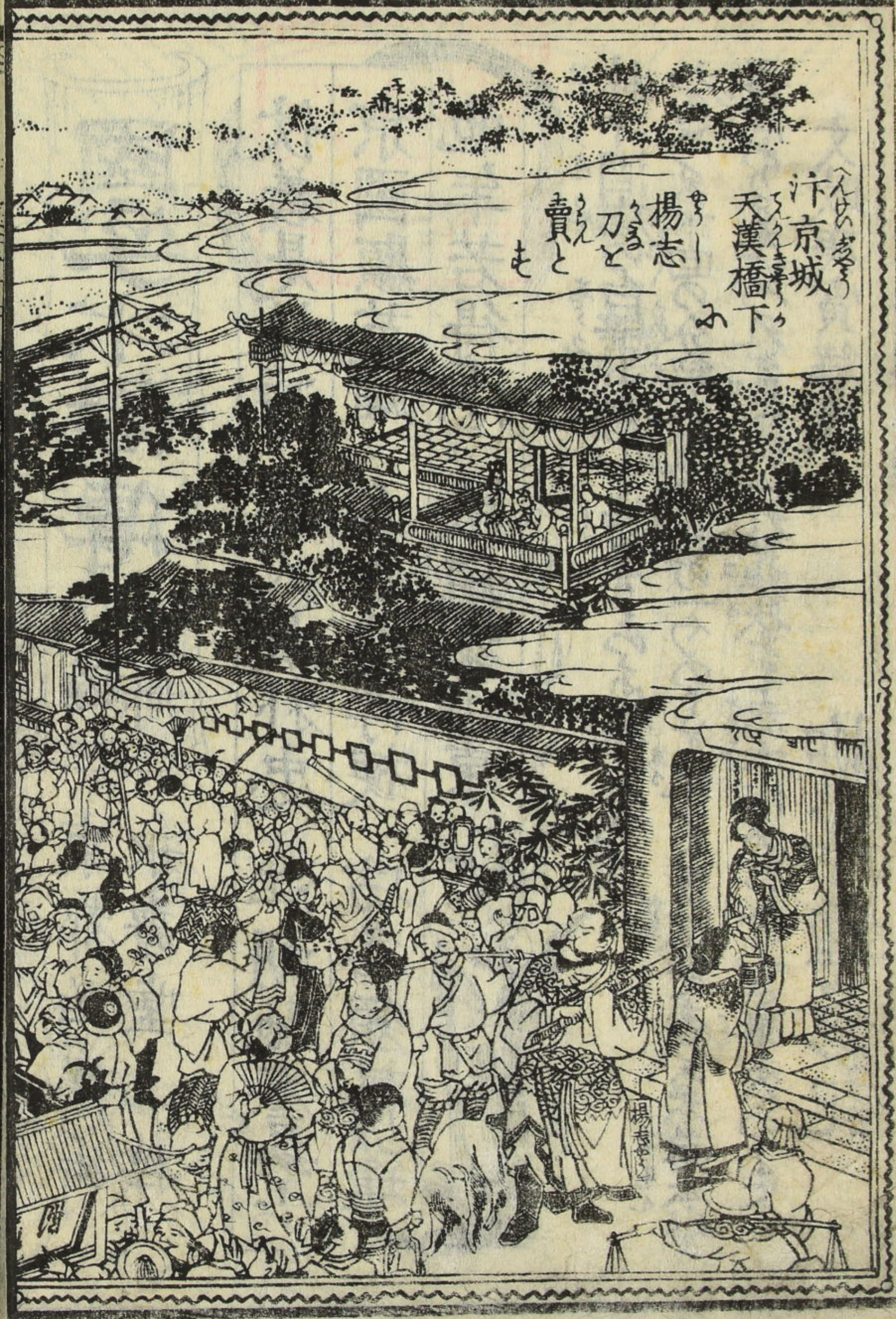
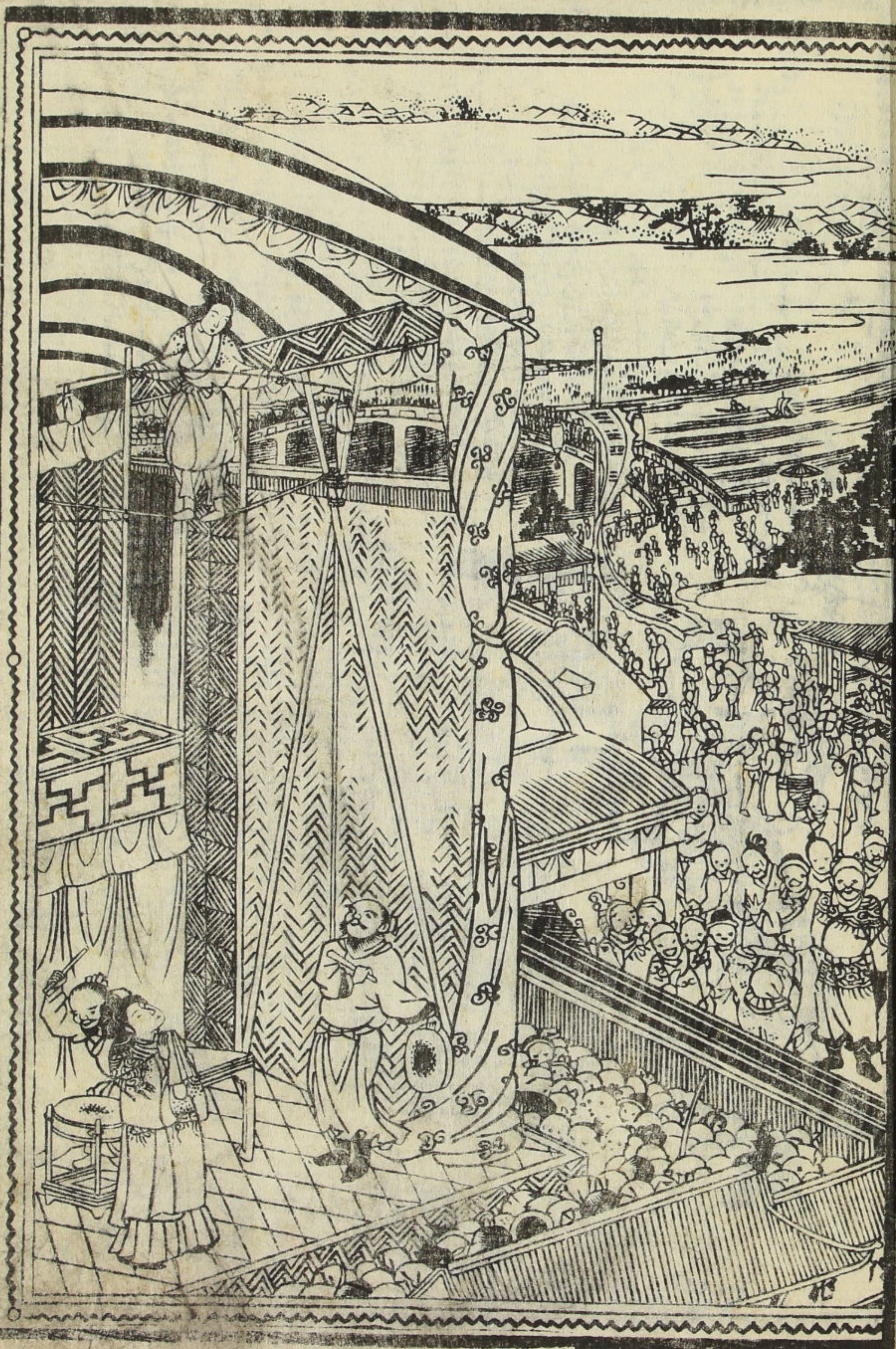


林冲酒店の白壁に寫し詩ありあふ録て  
なきる下回の分解は僅に起の二勺の事と記し  
故事あり不華本は  
異同あり毛のつれは是れ非欵を赤本作者の知なき事あり  
文政庚寅解凍  
柳亭種彦記

水滸傳八編

壹





汴京城  
天漢橋  
揚志  
刀と  
賣と  
み下











林冲の事は... 梁山泊の... 林冲の事は... 梁山泊の...

林冲の事は... 梁山泊の... 林冲の事は... 梁山泊の...

林冲の事は... 梁山泊の... 林冲の事は... 梁山泊の...

林冲



林冲

酒保

仗義是林冲 為人最外忠  
江湖馳譽登 京國顯英名  
有母慈孝祝  
功名顯赫登  
仙手宏偉志  
威儀奉山東























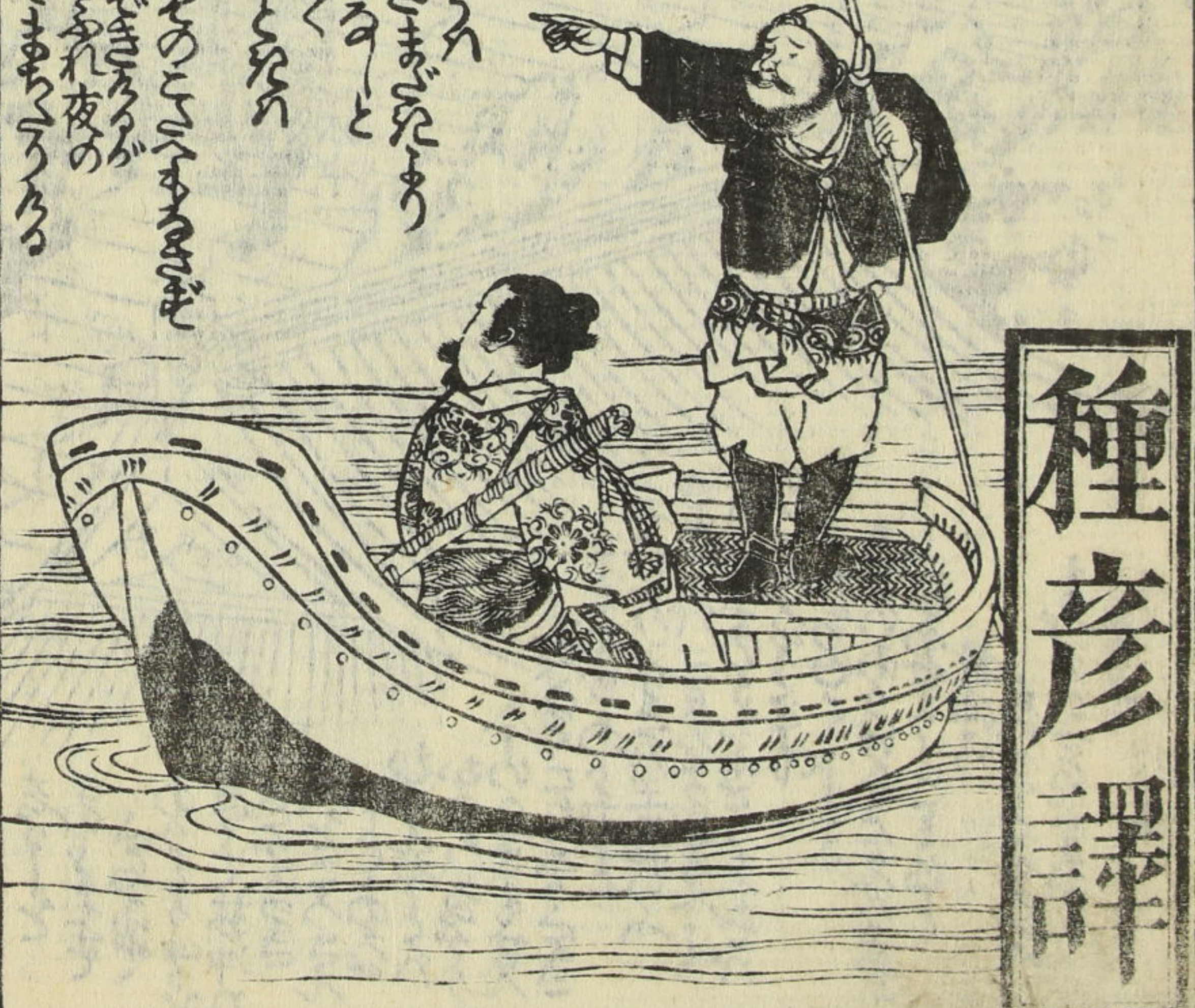
松壽堂藏販略目録

清懷中折本手帳向目録	古	高	早	實	當
清家改撰消息律素	用	月	學	語	時
女	用	用	用	教	用
用	文	文	文	童	子
文	章	章	章	子	教
章	抄	抄	抄	教	習
抄	抄	抄	抄	習	物

奥州松島八景之圖	繪本	分間	松壽
唐紙一枚摺	平家物語	御江戸圖	年代記
前北齋爲一老人筆	歌川國直画	一枚摺	兩面摺
春本二景はあつたの爲野らるるのけき故去はくわはは	松亭金水譯	一	裏
考人筆はそととそそその終系眼前ふんかどと	歌川國直画	枚	表
加目位算早割塵劫記	全一冊	摺	裏
全一冊	全一冊	摺	表
全一冊	全一冊	摺	裏
全一冊	全一冊	摺	表

又清傳ノ録

その日もこれんとりて...  
 林沖ハさんそのまゝ...  
 ひん...  
 うん...  
 のち...  
 あ...  
 こ...  
 の...  
 一...  
 ま...  
 る...  
 ま...  
 ま...  
 の...  
 ま...  
 の...  
 は...  
 の...  
 ま...  
 の...  
 の...



種彦譯



國字水滸傳八編

下

第十一回

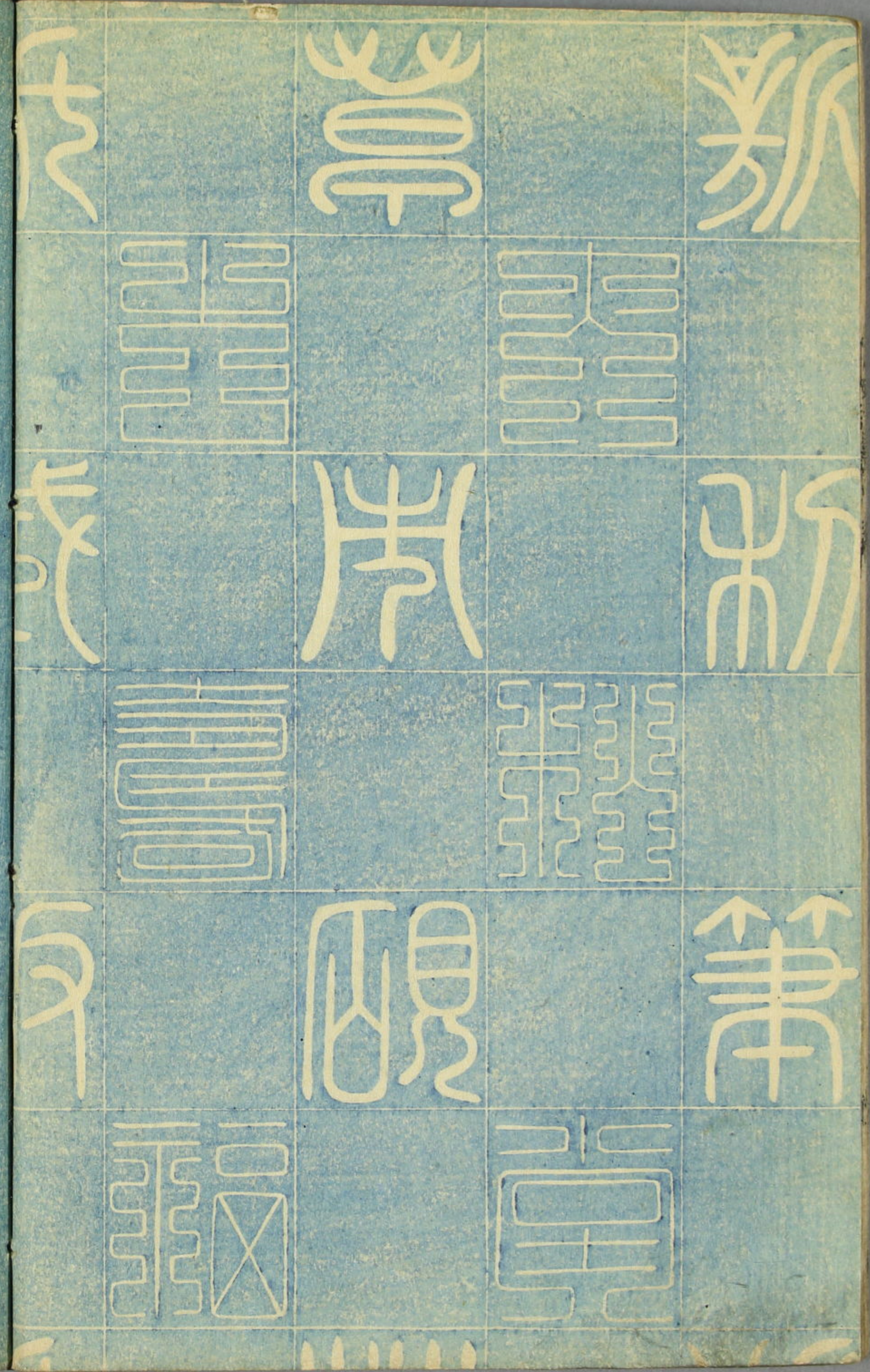
梁山泊林冲

落草

汴京城楊志

賣刀

國芳畫











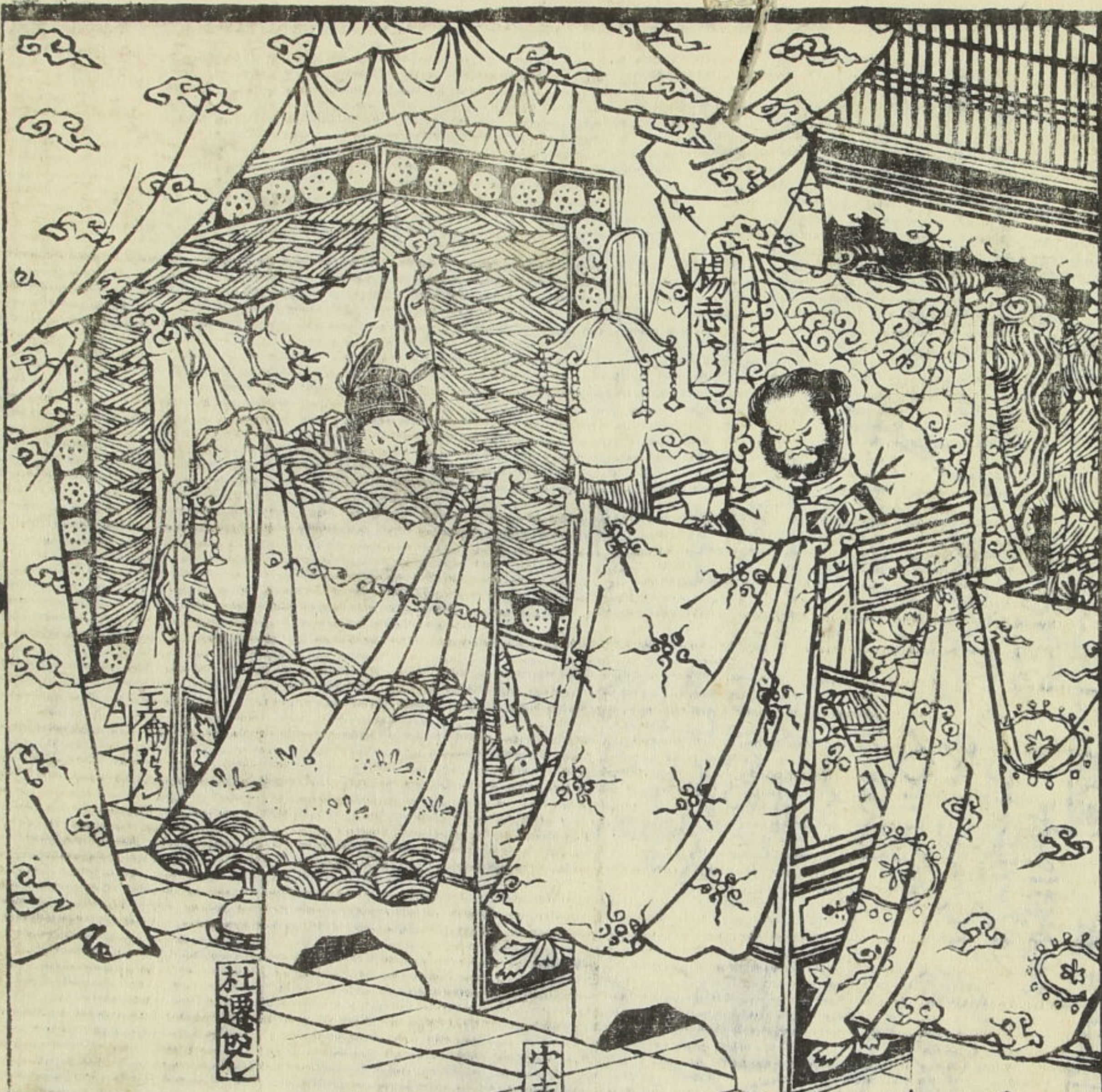












〇右の  
 二の  
 交椅と  
 まうり  
 朱貴志  
 林沖の  
 二人をききまうり  
 左の。こしん。ん。  
 こせん。そん。  
 け夜ハ朱貴も  
 こしんありて  
 四の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり

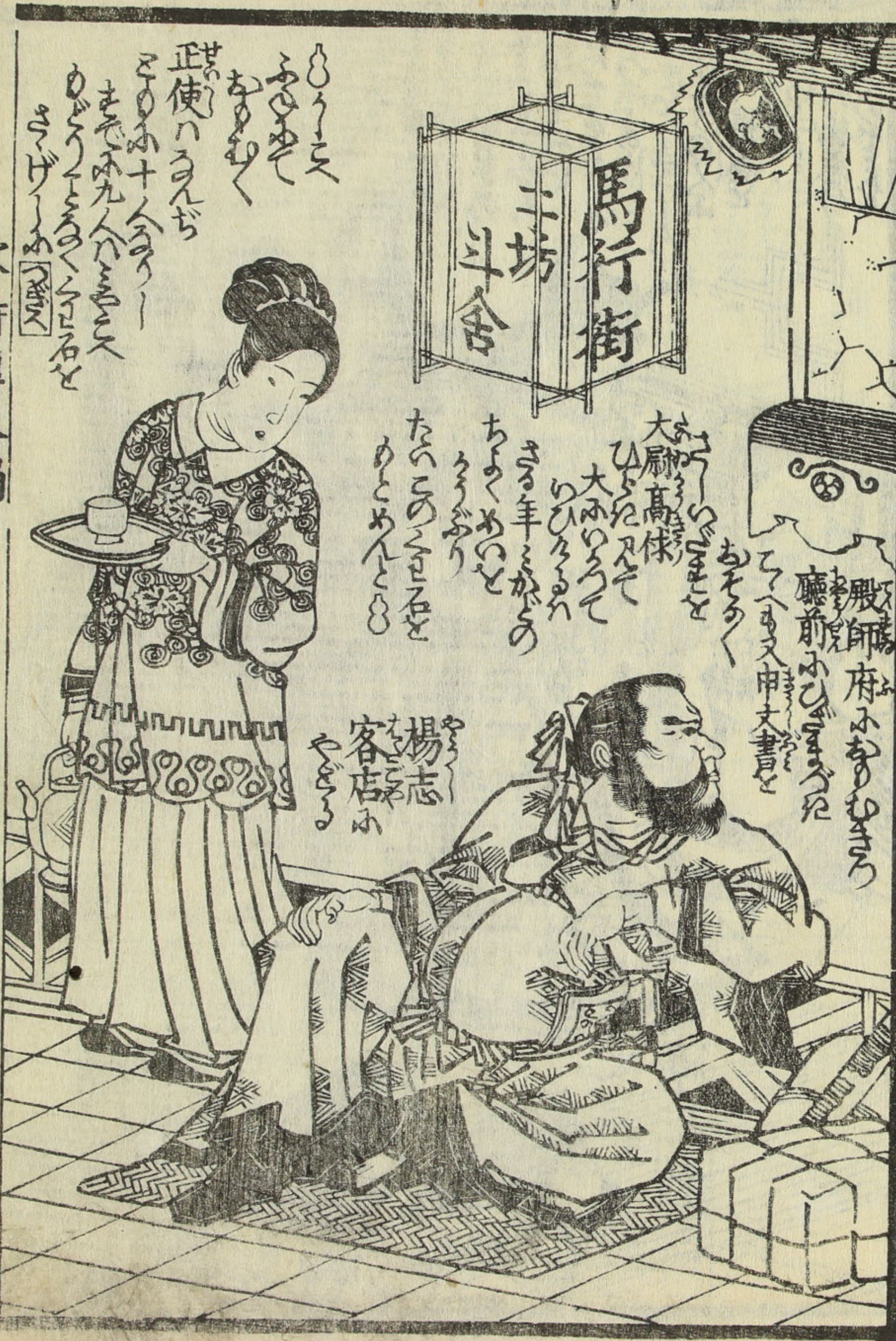


〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり  
 〇〇の交椅ふ  
 ありあられつ  
 座まうり







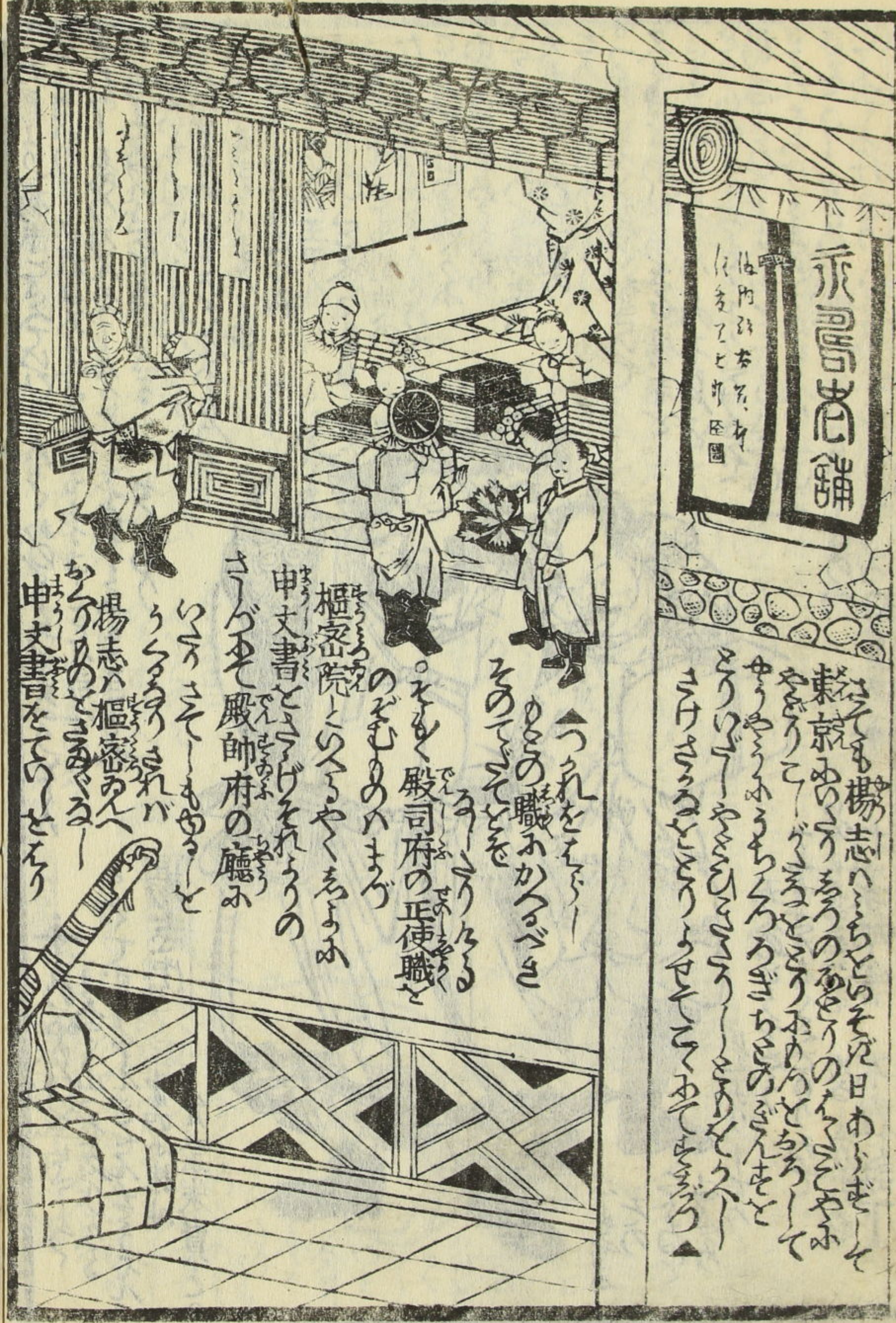


おうへえ  
 あひやて  
 なむむく  
 正使のるんち  
 このふ十人あつて  
 まゝに九人いゝまゝに  
 のまゝに七人いゝまゝに  
 まゝに一人いゝまゝに

水許傳八編

殿師府ふむむまろ  
 應前ふひまふら  
 こへも申文書と  
 あそく  
 大尉高休  
 ひたれ又て  
 大ぬらうて  
 いひまふら  
 さる年かたの  
 ちよめい  
 うまひ  
 たのこのまを  
 のこめんと

揚志  
 客店  
 ふ



永言老舗  
 此内は本宅  
 候と申す

つれを  
 のの職か  
 のをも  
 殿司府の正使職  
 櫃密院  
 申文書  
 さうして殿師府の應ふ  
 うらま  
 揚志の櫃密院へ  
 申文書をてのせり

揚志の櫃密院の正使職を  
 殿司府の正使職に  
 申文書をてのせり  
 櫃密院の正使職を  
 殿司府の正使職に  
 申文書をてのせり

又高傳八編

十六



















